

令和5年度 千葉県立市原特別支援学校（本校）学校経営方針

I 目標

学校教育目標

自立と社会参加を目指し、心身共に健康で、思いやりの心を持ち、自ら考え行動する児童生徒を育成する。

— 高等部の目標 —

- 1 基本的な生活習慣が身につく、健康で丈夫な身体を養う。
- 2 豊かな心を育み、規範意識や社会性を育てる。
- 3 社会生活に必要な知識・技能・態度を養い、自ら考え、主体的に行動する力を育む。
- 4 社会の一員としての自覚を育て、自立・社会参加する意欲や態度を養う。

— 中学部の目標 —

- 1 基本的な生活習慣を整え、健康な身体を養う。
- 2 自己や他者の良さを認め、尊重し合い、思いやりの心を育てる。
- 3 日常生活に必要な知識・技能・態度を養い、自ら考え判断し行動しようとする力を育む。
- 4 社会のルール・マナーを守り、自立と社会参加の心構えを育てる。

— 小学部の目標 —

- 1 生活のリズムを整え、健康な身体を養う。
- 2 自分や友達を大切にし、思いやりの心を育てる。
- 3 発達を支える基礎となる知識・技能・態度を養い、進んで学ぶ意欲と態度を育む。
- 4 集団生活を通して、友達や教師と一緒に物事をやり遂げる力を育む。

目指す児童生徒像

仲良く 元気に 進んで 学ぶ子
社会に向かってはばたく子

目指す教師像

児童生徒の実態に合わせた授業ができる教師
児童生徒の心に寄り添った生徒指導ができる教師
専門性向上のために、自己研鑽に努めるとともに、互いに高めあう教師

II 経営の基本方針 【目指す学校像】

1 児童生徒が元気に学べる「安全で安心な学校」

- (1) 災害に強い学校づくりを目指し、防災体制の整備と防災教育の推進を図る。
- (2) 教育活動中の事故の防止を目指し、安全教育を推進する。
- (3) コロナウイルス感染症等の感染症対策を徹底し、校内の感染拡大防止に努める。

2 一人ひとりの児童生徒を大切に「人権が尊重される学校」

- (1) 発達課題や障害特性を理解した教育の推進に努める。
- (2) 児童生徒の気持ちや考えを受け止めた教育の推進を図る。
- (3) 人権意識や自尊感情を高めることにより、いじめの未然防止に努める。

3 児童生徒のニーズに応じた適切な指導と必要な支援のある「学びが楽しい学校」

- (1) 発達課題や障害特性に応じた指導内容の充実と学習環境の整備を図る。
- (2) ICT機器を効果的に活用した、楽しい、わかる授業の充実を図る。
- (3) 個別の教育支援計画や個別の指導計画、「いちほら学習ビジョン」、「教育課程プロジェクト」の研究成果を活用して、12年間の一貫した教育を目指す。
- (4) 一人ひとりの豊かな生活を目指し、教育、医療、福祉、労働等関係機関との連携を深める。

4 特別支援教育のセンター的機能を充実させた「地域と歩む学校」

- (1) 幼保・小・中・高等学校等への支援機能の充実に努めるとともに、交流及び共同学習を推進する。
- (2) 関係機関と連携して、地域での障害者スポーツの推進を図る。
- (3) 保護者・関係機関・地域との連携を深めるとともに、情報発信や情報共有に努める。

5 教職員一人ひとりが学ぶ姿勢をもち続け、専門性を「互いに高め合う学校」

- (1) 一人ひとりが専門性を高めるとともに、教師間の協働を大切にした、「チーム市原」として指導力の向上を図る。
- (2) 研修体制の充実を図り、教職員の資質・能力の向上を図る。

6 適正な学校運営に向けて「改善を続ける学校」

- (1) 教育公務員としての自覚をもち、不祥事0、学校事故0を目指す。
- (2) 教職員が意欲的に働ける学校づくりを推進する。
- (3) 長寿命化改修工事の実施に向けて、教育課程等の諸課題に取り組む。